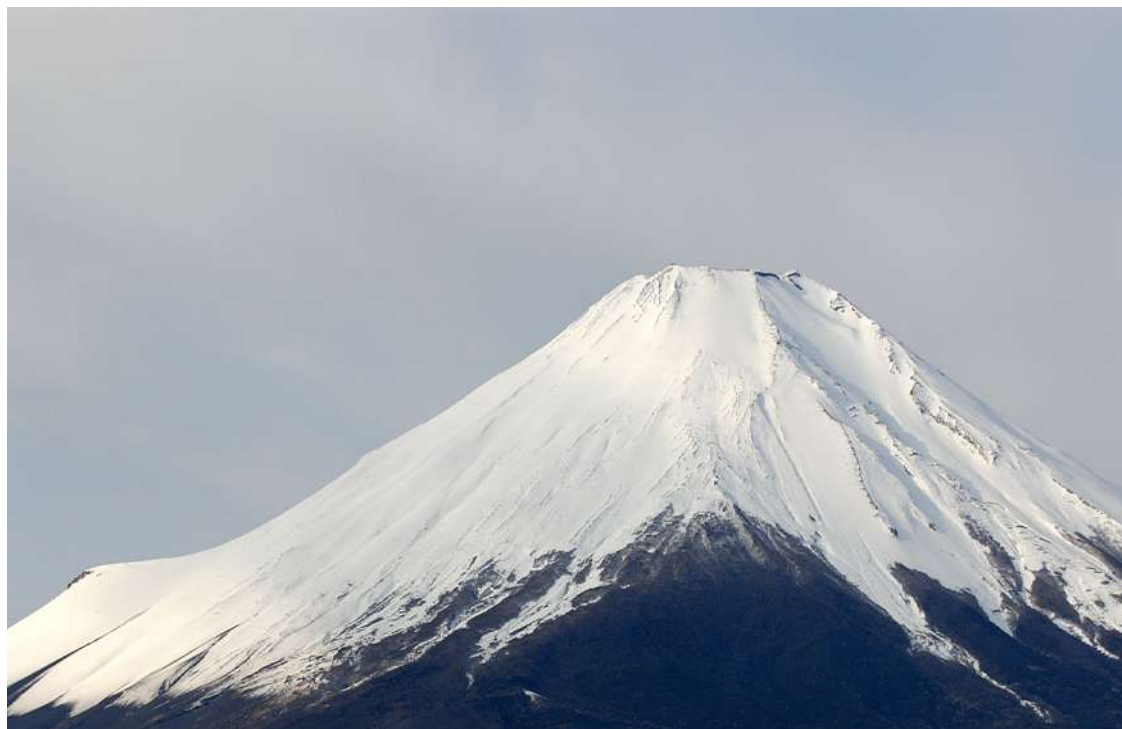


樹 姉 ば よ う

No.123
2015.01



新しいロゴマークと共に

明照学園理事長

野口秀樹



明けましておめでとうございませう。健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。本年もどうぞよろしくお願ひします。



新しいロゴマーク

今年に創立一〇一年目、二〇〇年に向けた新たなスタートの年です。

その始まりを記念し、二〇〇年に向けた新しいロゴマークを製作いたしました。皆様に本日発表します。

東京のザ・デザインアソシエイツ(株)に依頼して、昨年末に完成しました。まだできたてのホヤホヤです。ロゴのニックネームはJTKツリーで、これは希望広がる世界を表しています。

樹徳のアルファベット表記である「JUTOKU」から「J・T・K」をモチーフに選び、「樹」を連想させる形をデザインしました。

「樹」には「三つのわき上がる形」が描かれています。これは樹徳の教育理念である「知・徳・体」の実現と「仏・法・僧」、すなわち「明るく・正しく・仲良く」という学園のモットーを意味しています。

このデザインは、夢や希望が豊かに成長し、大きく広がっ

ていく様子を表現しています。まさに、「夢は大きく根はふかく」という学園のメッセージをイメージしています。

ロゴマークの上半分を囲む「JUTOKU SCHOOLS」は、学園の「樹徳高等学校」「樹徳中学校」「樹徳幼稚園」全てを表す言葉です。また、下半分の「SINCE 1914」は、一〇〇年もの長きにわたり教育に携わってきた誇りを示す年号です。

イメージカラーのグリーンは「樹」と「緑蔭」を意味し、成長を表すグラデーションはデザインに立体感を持たせています。

インターナショナルで若々しい印象と同時に、伝統を感じさせる洗練されたロゴを目指しました。

しばらくの間は、これまで用いていた桐紋と併用していきますが、伝統と革新、どちらも大切にして参りたいと思っています。

合掌

「樹徳歌壇」から 見える生徒の感性

樹徳中学校 教頭
石原 秀樹



てみようということになりました。新聞の歌壇にならって、生徒から作品を募集し、私が選者となって入選作を発表、選評を付すという体勢をとり、「樹徳歌壇」と名付けました。どんな作品が寄せられるか、現代の中・高生がどのように反応してくれるのか、心配でした。生徒に配布する作品募集のチラシで、次のように訴えました。

《短歌を詠もう》

樹徳中高一貫国語科では生徒のみなさんから短歌作品を募集します

自由な発想で短歌に挑戦し新しいあなたの世界を拓きませんかー

クラス担任の先生方の協力もあり、中学生・高校生から多くの作品が寄せられました。

第一期応募作品を前にしたときの私の感想は、ひとこと言えば、「詠めるじゃないか」です。「当然だ」という思いと、「すごい」という思いが相半ばして湧き上がってきたことを覚えています。現在、第七期まで実施しておりますが、ここで改めて、私の心に強く残っている作品をご紹介します。

・ 夕立が過ぎ去った後の水たまり 水踏むたびに空がゆらめく（第一期中学生

の部特選、二年生男子）

・ 凄絶に地を焼く夏の日の光 空を仰げば昼の灯台（第一期中学生の部佳作、三年生男子）

・ 日だまりに、ひまわりの花、咲き乱れ 君の笑顔も空高く咲く（第一期高校生の部特選、四年生女子）

・ 夏の日を待ちわびた蝉 空を見てふいに眩き鳴き声となる（第一期高校生の部佳作、五年生女子）

記念すべき作品群です。「空が揺らめく」という感性はすごいと思いました。「空を仰げば昼の灯台」などは、ちよつと専門的になりますが、シュールレアリズム調だとさえ言えそうです。

何といっても高校生の特選歌は印象的でした。私が無意識にであれ期待していたものが、まさにこの作品であったような気がしました。「ひまわり」のモチーフから「君の笑顔も空高く咲く」へのイメージの展開が何とも心地よく思いました。また、「蟬」の「眩き」にじっと耳を傾ける女子高生が現実存在しているのです。変な言い方かもしれませんが、このような中・高生の感性を私たち大人は信じてよいのではないのでしょうか。

・ 暑かった夏の終わりを知らせませす お知らせ係はトンボの家族（第二期中学生の部特選、一年生女子）

・ 道端にぼつりと落ちたどんぐりに 小さな秋の訪れを知る（第二期高校生の部特選、四年生女子）

・ 君思い 涙ひとひら流れ落ち 朽ちた枯れ葉に心かさねる（第二期高校生の部佳作、五年生女子）

第二期中学生の部特選歌は中学一年生女子の作品です。作品全体の雰囲気は何とも言えずすばらしいと思います。もし、十二、三歳の少女が醸し出す雰囲気ってどういうもの、と問われれば、この作品を示してみたいと思うくらいです。

第二期高校生の部特選歌と、「君思い」の佳作作品とは、実際のところ、優劣をつけたいものがありませんでした。この二首は、作品のモチーフがまったく違っています。「自然・季節」に向き合う目と、「心・恋」を見つめる目との違いでしようか。どちらの作品も完成度が高く、どちらをとるかは選者の好みによるかもしれません。私は、「道端に」の方を特選としたわけです。その理由は、「小さな秋の訪れを知る」という感性により高い価値を認めたからです。とは言え、「朽ちた枯れ葉に心かさねる」も、何と魅力的な表現でしょう。ちなみに、実は校長先生から「どうして『君思い』を特選にしなかったの？」という質問があったのです。きっと、校長先生が選者であれば、きっと、「君思い」を特選になさったでしょう。

第一期、第二期を振り返っているうちに、与えられた紙幅が尽きようとしています。第八期の「題詠」、どのような作品に出会えるか楽しみです。これからも、「樹徳歌壇」を少しでも充実、発展させたいものだと願っています。

お詫びと訂正
12月号「合唱コンクール」ページにおいて、準優勝の一貫校5年生の写真を誤って掲載してしまいました。
正しくは以下の写真です。お詫びして訂正いたします。



5年生 模範唱

向き不向きより 前向き

「旅の雑感」

ドライブ好きである。特に、目的を定めずぶらりと出かけるのが好きで、二年前に購入した今の車に乗り換えるまでは、頑なに「ナビ」を拒んだ。「関東道路地図」だけを頼りに出かけ、それはそれで楽しめたのだが、時には困ったこともあった。

長野県のとある庭園を目指した時のことである。時折、道端に看板が出ていくらいなので、事無くたどり着けるだろうと高をくくっていた。ところが、看板の矢印をたどって進むうちに、さあ困った。矢印は左折だが、道は五叉路だ。左と斜め左、さあどっちだ？ 車を運転している身にゆっくり考えている暇はない。とっさに、単なる左折の路を選び、そのまましばらく走ったが、今度は看板を見かけなくなってしまった。「これは外したか」

と思いつつ、車を止め、なんとか確認したかったが、「関東」レベルの地図に細かい路まで出ているはずもなく、道行く人に聞いてみると、案の定、先の五叉路を「斜め左」だったのだ。来た路を戻り、それから二度ほど道を聞いて、ようやく目的の庭園にたどり着くことができた。入り口は普通の家のようなだが、奥行きがあり、可愛らしくも立派な庭園であった。

また別の場所、これはごく近所の話だが、歴史的にも面白みがありそうな石塔がある、と雑誌で見かけ、行ってみることにした。県道には立派な案内板が出ており、「石塔まで七キロメートル」などと書いてある。細道に入る角にも、小ぶりが矢印付きの案内板があった。

先にはちょっとした公園があり、この公園のさらに先に石塔があるはずだ。車をここに駐め、「石塔まで

七百メートル」の案内を信じ、歩き出した。

しかし、ここからが大変だった。公園を抜けた先には、畑と、雑草が生い茂る荒れ地しかない。そして、案内板とおぼしきものは全く見当たらないのだ。このような場所だから人もいない。しばらくうろついたあげく、ようやく犬の散歩をしている人に出会い、場所を聞いて（結局は小高い丘の向こう側にあったので、見えなかっただけ）何とかたどり着くことができた。目的の地から遠く離れるほど、立派な案内板があるが、近づくに従い、案内板は小さく、数も少なくなり、あるいは正確さを欠き、肝心なところで案内不足になる傾向があるらしい。初めての人にとっては、その場所に近づくほど、きめの細かい案内が必要なのだが、近くの人にとってはその存在が当たり前過ぎるから不要だ、ということなのだろうか。

ふと、人にものを教える際の心構えとして、「知っていて当たり前」という考え方はいけないと、改めて思い至った。自分の授業はどうだろうか。

（編集子）

「友情」

人生に悩みや問題は尽きないものであるが、その中でも「孤独」は、年代を問わず大きな悩みである。淋しき、やりきれなさを深く感じ、本当に自分を理解してくれる誰かを求めずにはられない。親も、兄妹も、先生も自分のことをわかってくれない。誰か理解してくれる人が欲しい。高校生の年齢は特に、である。高校生年代は、漠然とした不安や、自分の価値を認めてくれる誰かによって自分自身をはっきりつかみたい、といった気持ちが強い。いわば、自らを確立したい、という心理であり、これが一層孤独を際立たせ、心の友だち「親友」を求める理由となる。

える関係である。相手とひとつになろうとする愛情ではない。「友情」は最も美しい人間関係である。高校時代は、仲間を親友と思い違いしやすい。仲間は趣味や関心を中心に結ばれ、親友は友情で結ばれる。仲間は、趣味や関心が変われば離れるものである。青春時代は、利害にとらわれずに、純粋に人を愛したり、憎んだりできる。人生の中で最も友情が芽ばえ、親友を作れる時代である。よき親友を持ちたいものである。

親友は、互いを理解し合う。理解とは長所も短所も、良い点も悪い点も認め合うことである。その上で相手に敬意を払い、全幅の信頼を寄せ合い、絶対に裏切らない、という間柄である。親友との心のふれあいを「友情」と言う。心と心の交わりは、精神的な距離を保ち、相手を拘束しない「自由」を認め合うことである。「君は君の道を行け。私は私の道を歩もう」と言い合

友人関係には、家庭の理解と適切な対応も大切である。保護者の皆様には、ぜひ子供たちを暖かい目で見守っていただくことをお願いいたします。

（カウンセラー室）



桐生錦町一丁目 盛運橋薬局前

■樹徳コミュニティセンター「み法」 1月予定

(1) アートスクール「編み組み教室」
(主催 野村ナナ子さん)

7日(水)、21日(水)

(3) 七草ゼミナール塾
(主催 上野丈雄さん)

25日(火)

平成二十七年を迎えて

新年を迎えるにあたり、本校生徒に新年の抱負を綴ってもらいました。それぞれにとって、実りある一年になることを願っています。

大学生になるにあたって

三年K2組 扇野 道弘
(太田西中出身)



私のクラスでは大学受験を控え、皆が勉強に励む姿が当たり前の光景になっています。そんな中、私は先日、推薦入試で群馬大学理工学部合格し、進学することとなりました。まだまだ未熟な私が合格できたのは、担任の山崎先生をはじめ、多くの方々のご指導のおかげと感じています。私には進学先で達成したい目標が三つあります。一つ目はサークル活動です。中学時代は硬式テニス部でしたが、高校に入ってから、勉強が中心となり、取り組む機会がめっきり少なくなりました。そこで大学では思う存分テニスに打ち込みたいです。

二つ目は近い将来英語力は不可欠となるはずなので、そのスキルアップに向け、あらゆる機会に身を投じ、実践的な英語力を身につけたいと考えています。三つ目は友人づくりです。大学は他県からも学ぶ意思をもった人たちが集まる場です。それら多くの仲間たちと共に学び、共に研究活動を行う中、一生の友人をさらに増やしていきたいと考えています。私はまだ樹徳高校三年生の一人であることに変わりありません。大学入学時に十分な学力で臨めるように、卒業までの間、クラスの仲間と共に勉強に励み続け、新たな旅立ちを自分なりに最高な形で迎えられるよう取り組んでいきます。

新年度を迎えるにあたって

二年SS組 金子 義経
(桐生黒保根中出身)



「高校二年の三学期とは受験ゼロ学期である。」どこかで聞いたこの言葉が私の不安を駆り立てた。思えばこの一年間は多忙であった。理科部での研究発表や海外研修、科学の甲子園など刺激的な体験が目白押しで瞬く間に一年が過ぎた。昨年を振り返ると、私には大きな反省点がある。有意義な学校生活を送っていなかったということだ。起床から通学、帰宅、就寝に到るまでの経過を就寝前に思い返してみても、その日の記憶が明確に蘇ってこない。つまり、自らの行動に意思を伴わない空虚な一日を過ごしたことになるのではなかろうか。高校生活も二年目であるという余裕が生活意識の低下を招いてしまったのであろう。そんな私の抱負は意義のある生活を送ることだ。春からはいよいよ受験生。志望校合格のためには、趣味

の時間を切り詰めても勉強に励む必要があるだろう。そこで私の理想とするのはメリハリのある生活だ。よく遊び、よく学べとはよく言ったものである。そのために不可欠なのが計画であり、一年後に控えた大学入試を見据えた、なすべきことの明確化である。

心の成長

一年J1組 吉田 真実
(伊勢崎赤堀中出身)



昨年、最も印象深かったことは陸前高田にボランティアに行ったことです。私たちが被災地にお手伝いに行くことで、今なお苦しむ方々の心が少しでも和らげばと思ひ、時間の許す限り

協力して取り組みました。また、校内でも多くの学びがありました。樹徳高校では学業と共に浄土宗の教えに基づいた仏教的情操を学ぶことができます。その中で、人と人は手と手をつないで、網の目のように繋がっていると感じました。そして、微力ではありますが、お力になれることは何かを考えながら日々生かされ、生きていくことの大切さを知りました。

私自身、自らのことばかりを考えるのではなく、周囲の方の幸せに繋がるような言葉がけや行いを日頃から心掛け、いつでも前向きでいられる習慣を身につけるべきと考え、日々実践してきました。

しかし、時にはそうした気持ちたちが緩みそうなおことがあったことも事実です。そんな私を鼓舞してくれた言葉が、毎日唱和する心情の一節、「怠りは死なるを知り常に努むべし」でした。

私はこの新たな一年も生かされていることに感謝し、学業と心の学びの両立に励み、いつも温かく接してくださる先生方、そして友人たちに私も少しずつでも恩返しができるようになればと思っています。



平成二十七年 度

入学試験が始まります

一月の新学期を迎えるにすぐ、樹徳高校では入学試験が実施されます。一月十日(土)の推薦・学業奨学生試験、そして一月三十一日(土)の一般・ステップアップ試験です。

県内外から多くの中学三年生が受験する本校の入試は、県下でも有数の規模を誇ります。

特に樹徳の入試の「コマ」として有名なのが、大会場での試験。講堂に数百名が整然と並んで試験を受ける様は圧巻です。

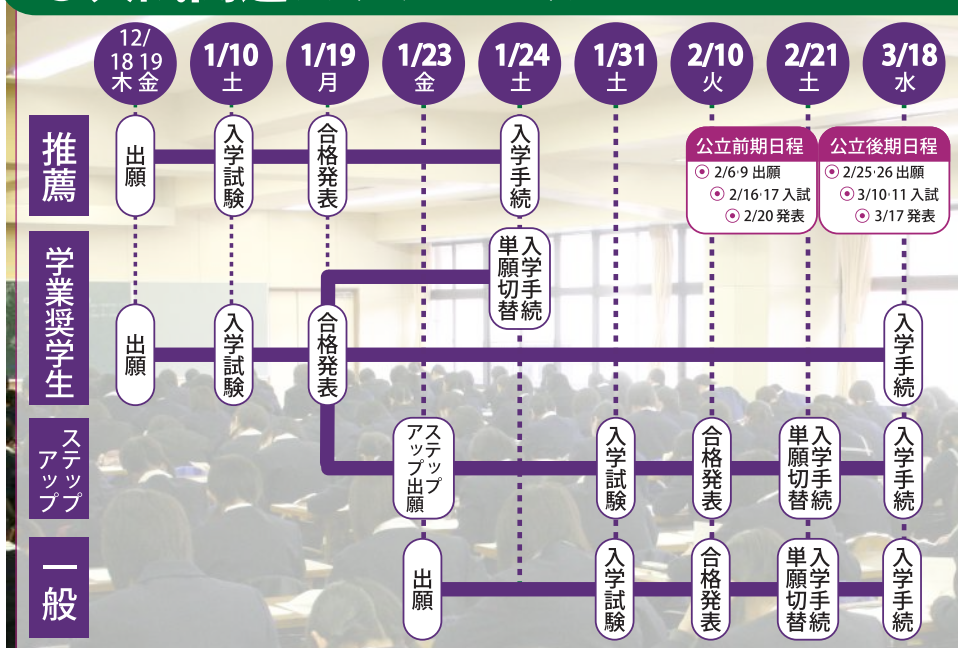
また、今回から新校舎での入試も行われます。女子の新制服へと切り替わった昨年。校舎が新しくなる今年。少しずつ、樹徳が変化しています。

毎年、さまざまなドラマが生まれる高校入試。受験生が皆、全力を出し切って受験してくれることを、そして、春には樹徳生としてもう一度学校の正門をくぐってくれることを期待し、職員は万全の態勢を敷いて当日を迎えています。



講堂での試験の様子 (平成 26 年度入試)

●入試関連スケジュール



旧体育室での試験の様子

3年生 イギリス研修に行ってきました

一貫校
中学校
だより



平成二十六年十一月六日
十二月の五泊七日で、樹徳中学校の一大行事のひとつでもある英国語学研修が実施されました。この研修のために目頃から英語力向上に努めてきた三年生四十八名。不安と期待を抱きながら、全員目的を持って参加することができました。
現地校訪問で行われた交流会では少林拳法や伝統舞踊も披露し、時間をかけて準備した甲斐もあって大盛況に終わりました。
たった数日間の研修でしたが、食事や生活スタイル、ホストファミリーと過ごす休日など、出発前に抱えていた不安は心に残る思い出に変わり、充実した面持ちで無事に帰国しました。
家族のもとを離れて異文化を体験してきたことで、将来に対する視野も広がったことでしょう。



ロンドン市内観光



現地校訪問



実践英会話に挑戦



英会話レッスン



ホストファミリーとの出会い



平成 27 年度
樹徳中学校 第 2 期入学試験
試験日 1 月 17 日(土)
出願期間 1 月 7 日～ 9 日

樹徳中学校 第 3 期入学試験
試験日 2 月 7 日(土)
出願期間 2 月 3 日～ 5 日

お問い合わせは 0277-45-2257 まで

～結果～

《男子マラソン》

1 位 赤坂 匠 (1 年)

《女子マラソン》

1 位 橋本若菜 (2 年)

《駅伝》

優勝 1 年 2 組

準優勝 1 年 1 組



第十四回
校内マラソン・駅伝大会

幼稚園だより

新年を迎えて、総仕上げの三学期

新年明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

今年の四月から「子ども子育て支援新制度」がスタートします。私立幼稚園は大変な過渡期（選択）を迎えております。本幼稚園



楽しいクリスマス会♪

では、大きな変革の中で、二十七年度は新制度（認定子ども園）には移行しない、現行の幼稚園として、幼児教育の充実と保育の質の向上等、子どもたちの健全な成長や、小学校の基礎をしっかりと身に付けさせるための、幼稚園だからこそできる教育の充実に努めてまいります。

施設・設備の充実

昨年十二月には園庭の遊具について、大型遊具（トドラーズチョイスやスネークジャングル）の新設や既存遊具（吊り橋・丸太・平均台・登り棒の移設・塗装）の改修等、環境整備工事に着手し、ほぼ完成いたしました。さらに、園舎内においては、三教室のエアコンを新しくするなど、子どもたちの教育環境の充実に努めております。

保育の質の向上とともに、幼児期は身体機能が著しく発達する時期でもあり、園庭の環境構成は、運動能力（歩いたり・走ったり・飛んだり）等を高める活動に、とても重要です。

子どもの育ちに必要な、よい環境の工夫を通して、子どもたちが園庭で、友だちと思いつき遊びながら体力を高めたり、恵まれた自然の中で、生き物に触れるなど、大切な場所として、その活用を図ってきたいと考えております。

二学期の運動会や茶臼山登山、遠足、成道会、お茶のお稽古、クリスマス会等の行事を経験した子どもたち。運動会後は友だちを応援すること

で、相手もまた応援してくれる。そんな思いやりが育つたり、一つのことをやり遂げた達成感から、何事にも挑戦しようとする意欲等が、身に付いたと思います。その力を、さらに確実にするために、三学期は総仕上げとしての教育（保育）に、教職員一同頑張っていきたいと思っております。関係

皆様のご支援・ご協力を、よろしくお願いいたします。

なかよし発表会

一月二十四日（土）に、中央公民館ホールにおいて「なかよし発表会」を開催いたします。母の会・教職員・子どもたちが一体となって行う最大のイベントです。本園では、一年間の総まとめとして、今まで積み重ねてきた保育の成果を、各学年の実態にあった内容で、楽しく発表します。オペレッタ（劇遊び）や唱歌、合奏、お遊戯等の練習をとおして、先生と子ども、子ども同士の絆が深まり、みんなの気持ち



れんしゅうをがんばってるよ★

ちが一つになつて、当日を迎えることになりま。練習過程においては、色々なことがありますが、それを乗り越えて、子どもたちは大きく成長します。この成長した姿を、保護者はじめ多くの方々に見ていただき

たいと思っています。

当日は緊張してなかなか声が出なかったり、照れてしまったりする子もいるかと思いますが、「お家の方に見てもらうんだ」と、練習に頑張っています。是非お出かけください。

幼稚園長 瀬谷 茂

平成二十七年 入園願書受付中

四月入園生、満三歳入園生ともに、願書を随時受け付けております。

二歳児はご相談に応じます。ぜひお問い合わせください。

いつでも見学可能です。また、水曜日は遊び教室を開放しています。

◎ 預かり保育

午後六時三十分まで

◎ 送迎も完備

園バスで安心・安全です

◎ お問い合わせは

住所 桐生市広沢町3-4475

電話 0277(53)5571

◎ 詳細はリニューアルしたホームページをご覧ください。

<http://www.jutoku.ed.jp/kinder>

1 月（持戒）の行事予定

日	曜日	高等学校(本校)	一 貫 校	幼 稚 園
1	木	元日		
2	金			
3	土			
4	日			
5	月	代休 (1/10)		仕事始め
6	火	推薦・学奨入試打合せ会議		始業準備
7	水			始業準備・園内研修
8	木	始業式	始業式 願書受付（～9日）	第3学期始業式
9	金	漢字練習開始 大掃除 入試会場作成		園内清掃（年長保護者）
10	土	推薦・学奨入試		
11	日			
12	月	成人の日		
13	火	学奨入試審査会	冬期課題確認テスト	教育実習（～2/9）
14	水	推薦入試審査会 マイトリー基金拠金日 校内書き初め大会	計算オリンピック ^㉓	研究委員会
15	木	鏡開き	漢字王決定戦 ^⑪ ミニマナーアップ運動	
16	金	漢字検定 ^③		発表会総合練習（合奏）
17	土	大学入試センター試験（～18日） 1・2年進研模試	中学校第二期入学試験	
18	日	全商情報処理検定 ^②		
19	月	LHR 大学入試センター試験自己採点 推薦・学奨入試合格発表日	お役に立とう週間 ^⑤ （～25日） 学力推移調査 ^③ 中学校範囲確認テスト	
20	火		計算オリンピック ^㉓ 入学手続（～23日）	
21	水	ITS研修 ^④		新採研（後期Ⅱ）
22	木		漢字王決定戦 ^⑫	
23	金	一般入試願書受付	英語検定 ^③ （4～5級）	なかよし発表会予行練習（中央公民館）
24	土	英語検定 ^③ 一次 第1回入学手続き（9:00～）	英語検定 ^③ （2～3級）	なかよし発表会（合奏・遊戯・オペレッタ）
25	日	全商簿記検定 ^② 法然上人忌	中学校入学説明会 ^①	
26	月	卒業試験 1・2年J組確認試験（～29日）		なかよし発表会代休日（預かり保育）
27	火		計算オリンピック ^㉔	
28	水			臨時休園 群私幼冬季研修会（伊勢崎市民会館）
29	木	3年生一斉指導	中学校市街地清掃 ^③	
30	金	出欠統計 大掃除 漢字テスト ^⑤ 一般入試会場作成 3年生自宅学習開始 女子制服アフターサービス		
31	土	一般・ステップアップ入試		

※ 8日は高等学校・一貫校・幼稚園の校内安全点検日です。また、4日は授業料納入日です。



平成26年に、明照学園は
創立100周年を迎えました

樹徳高等学校
樹徳中学校
樹徳幼稚園

〒376-0023 群馬県桐生市錦町一丁目1番20号
TEL. 0277-45-2258 Fax. 0277-47-1671
〒376-0022 群馬県桐生市稲荷町4-12
TEL. 0277-45-2257 Fax. 0277-45-2262
〒376-0013 群馬県桐生市広沢町三丁目4475
TEL. 0277-53-5571 Fax. 0277-53-5572

E-mail office@po.jutoku.ed.jp URL http://www.jutoku.ed.jp/

発行責任者 野口秀樹
印刷所 太陽印刷工業株

夢は大きく 根はふかく